



紅林美江さん (神奇区)

10年間毎日欠かさず、「みんな元気かな」と子どもたちの顔や様子を見ながら声を掛けています。顔を覚えてくれている子もいて、他で会っても「美江さん」と声を掛けてくれます。立たない日があると、「どうしたの」と心配されるので、自分自身も健康に気を付けて毎日過ごすよう心がけています。



藤田治之さん (細江区)

軒先ボランティアを始めたときは、恥ずかしがったり、声を掛けても返事がなかったりと不安でした。声を掛け続けていると、小学生から大きな声であいさつしてくれるようになり、「僕が中学生になるまで続けてね」と話してくれる子も。自分が楽しみながら地域貢献でき、こんな気持ちのいいものはありません。



小林青葉さん (萩間小6年)

軒先ボランティアさんが立っていてくれると、安心して歩いて学校に行けます。「おはよう」と声を掛けてもらえると朝から気持ちがいいです。



曾根はる希さん (細江小4年)

軒先ボランティアさんからあいさつされたとき、最初は恥ずかしかったけど、今は元気よくあいさつしています。自分で手を挙げて横断歩道を渡るより、見守ってくれているので安心です。

軒先ボランティアのシンボル

「軒先ベスト」

「軒先運動」+「防犯」という考え方をより高めるために、市では「軒先ベスト」を提供し、軒先運動を地域ぐるみの活動として展開しています。



軒先運動ボランティア申し込み

参加する人が無理のない活動を選択して取り組みます。皆さんも軒先ベストを着て「子どもの見守り」をしてみませんか？

取り組みに参加していただける方は、「軒先ボランティア申込書」に必要事項を記入し、社会教育課（市役所相良庁舎3階）まで提出してください。個人、団体は問いません。なお、団体で申し込む場合は、名簿も併せて提出してください。
*事前に社会教育課まで問い合わせください。

非行犯罪から守る青少年健全育成推進員
牧之原市青少年健全育成推進員会は、自治会やPTAの代表者のほか、中学校・高校

軒先運動実施ボランティア連絡会
軒先運動に参加しているボランティアの皆さんで組織する「軒先運動実施ボランティア連絡会」では、ボランティア同士の情報や市からの情報を交換し、連携を図っています。

の生徒指導担当教員、警察から委嘱を受け非行を防止するための指導相談などを行う少年警察協働員など、40人で組織されています。
同会では、青少年を非行犯罪から守るために、青少年健全育成街頭キャンペーンでのあいさつ運動、コンビニや書店などの巡回、花火大会や祭典での夜間補導などを行っています。
今後も推進員同士で、積極的に情報交換を行いながら、青少年健全育成を推進し、青少年が健やかに育つ地域を目指していきます。



地域で見守り 子どもを育てる

市では、軒先運動ボランティアや青少年健全育成推進委員などと連携しながら、子どもたちを見守り、安心して生活できるよう地域づくりに取り組んでいます。あなたも次代を担う子どもたちを見守り、そして育てる取り組みに関わりませんか。

問い合わせ 社会教育課 藤田 ☎(53) 2646

登下校時に潜む危険

全国各地で子どもが被害者となる事件が報道されています。事件の発端は、「声掛けがきっかけ」とされています。市内でも、見知らぬ人から声を掛けられた、車や自転車に追いかけられたなどの事件が発生しています。また、露出などのわいせつ行為も発生しており、子どもたちは危険にさらされています。

平成27年度には、登下校中の声掛けなどの不審者情報が28件（エスピーくん安心メール）ありました。

決まった時間に通る通学路は、不審者に狙われやすい場所なのかもしれません。そんな中、地域で子どもたちを守るべく、軒先運動や防犯パトロールなどの活動が、広がりをみせています。

地域で見守る軒先運動

軒先運動は、地域の皆さん

が登下校する子どもたちの姿を見届け、見守る運動です。子どもたちの登下校時間に、「こんにちは」「おかえり」と軒先での声掛け、家の周辺や通学路での子どもたちの見守りをする事で、地域に「見守りの目」を増やし、不審者対策につなげていきます。

「軒先運動ボランティアの主な活動内容」

- ▼玄関や庭先で、登下校する子どもたちの姿を見守る。
- ▼軒先に立って、子どもたちに「おかえり」と声を掛け、後ろ姿を見届ける。
- ▼家の近くの横断歩道に横断旗を持って立つ。
- ▼家の周辺や通学路を、登下校する子どもたちと一緒に付き添い歩く。
- ▼農作業中に少し手を休めて、登下校する子どもたちを見守る。
- ▼お店の前で、登下校する子どもたちに声を掛ける。